

株式会社 フルキャスト ホールディングス

2011年9月期第2四半期
業績説明資料

2011年5月6日

Agenda

- ◆ 東日本大震災の影響についてP.3
- ◆ 2011年9月期第2四半期業績P.5
- ◆ セグメント別の業績(2011年1月～2011年3月)P.12
- ◆ 2011年9月期 施策進捗状況P.17
- ◆ 2011年9月期 通期業績予想P.23
 - ・ 子会社の異動についてP.23
 - ・ 通期業績予想についてP.27

◆ 人的被害の状況について

当社グループにおける従業員並びに、震災時に雇用契約を締結していた、派遣スタッフの安否について無事を確認することが出来ました。

◆ 物的被害の状況について

震災当初は、仙台支店、千葉登録センターおよび土浦登録センターはビルの安全確認を行うために立ち入ることが出来ませんでした。仙台支店と千葉登録センターでは安全が確認できたため、再開しています。

◆ 被災地域におけるフルキャストグループの営業活動

(株)フルキャスト

- 東北地方全域の営業活動を停止していましたが、現在は、営業活動を再開しています。

(株)フルキャストアドバンス

- 福島支社において、主要顧客が休業中のため実質休業状態にあります。
- 被災地復興支援の対応として「クラウド事業本部 仙台支店」を開設しました。我々で安全を確保できる、請負の形でグループとして貢献していきます。

◆ 業績への影響について

- 震災の業績に与える影響に関しては、上期実績において売上で800百万円強、営業利益で200百万円弱の影響があったため、上期業績予想を下回ることになりましたが、引き続き対前年を上回る水準で推移しております。

Agenda

- ◆ 東日本大震災の影響についてP.3
- ◆ 2011年9月期第2四半期業績P.5
- ◆ セグメント別の業績(2011年1月～2011年3月)P.12
- ◆ 2011年9月期 施策進捗状況P. 17
- ◆ 2011年9月期 通期業績予想P.23
 - ・ 子会社の異動についてP.23
 - ・ 通期業績予想についてP.27

2011年9月期第2四半期会計期間業績

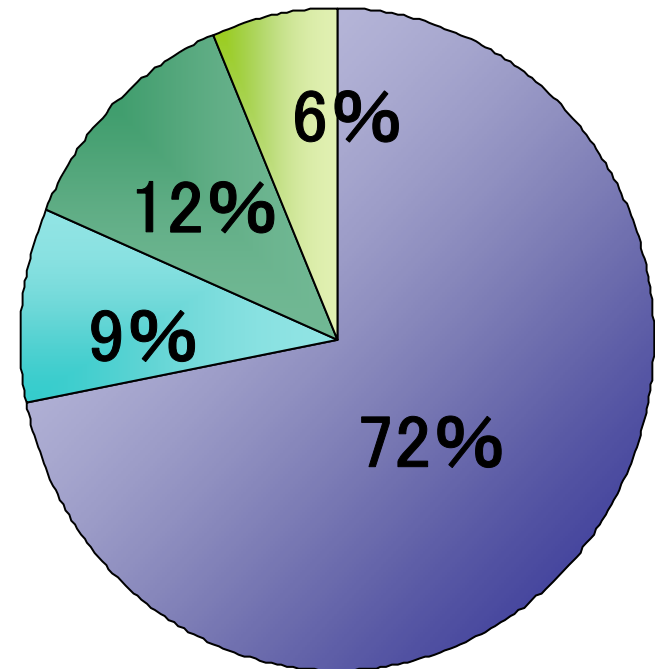
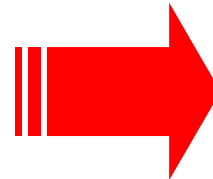
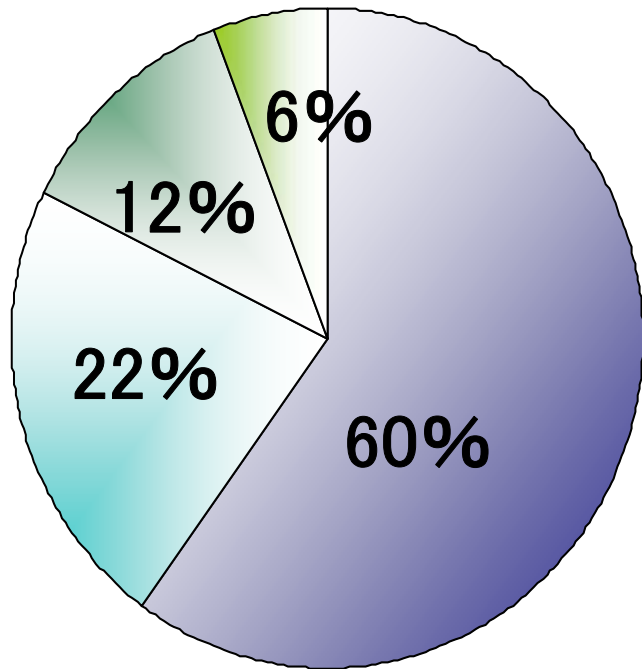
第2四半期会計期間における連結売上高の前年同期比は1.6%減、
営業利益の前年同期比は66.4%増

単位:百万円

	2010年9月期 2Q	2011年9月期 2Q	増減率
売上高	8,848	8,703	▲1.6%
売上総利益	2,110	1,993	▲5.5%
販売費及び一般管理費	1,974	1,768	▲10.4%
営業利益	136	225	66.4%
営業利益率	1.5%	2.6%	—
経常利益	108	222	105.5%
当期純利益	180	166	▲8.1%

セグメント別売上構成比について

短期業務支援事業が増収した一方、前期に実施したリストラクチャリング等で営業支援事業が50%以上減収したことに伴い、短期業務支援事業の売上構成比が12ポイント拡大



■ 短期業務支援事業 □ 営業支援事業
■ 技術者派遣事業 □ 警備事業

2010年9月期
第2四半期会計期間

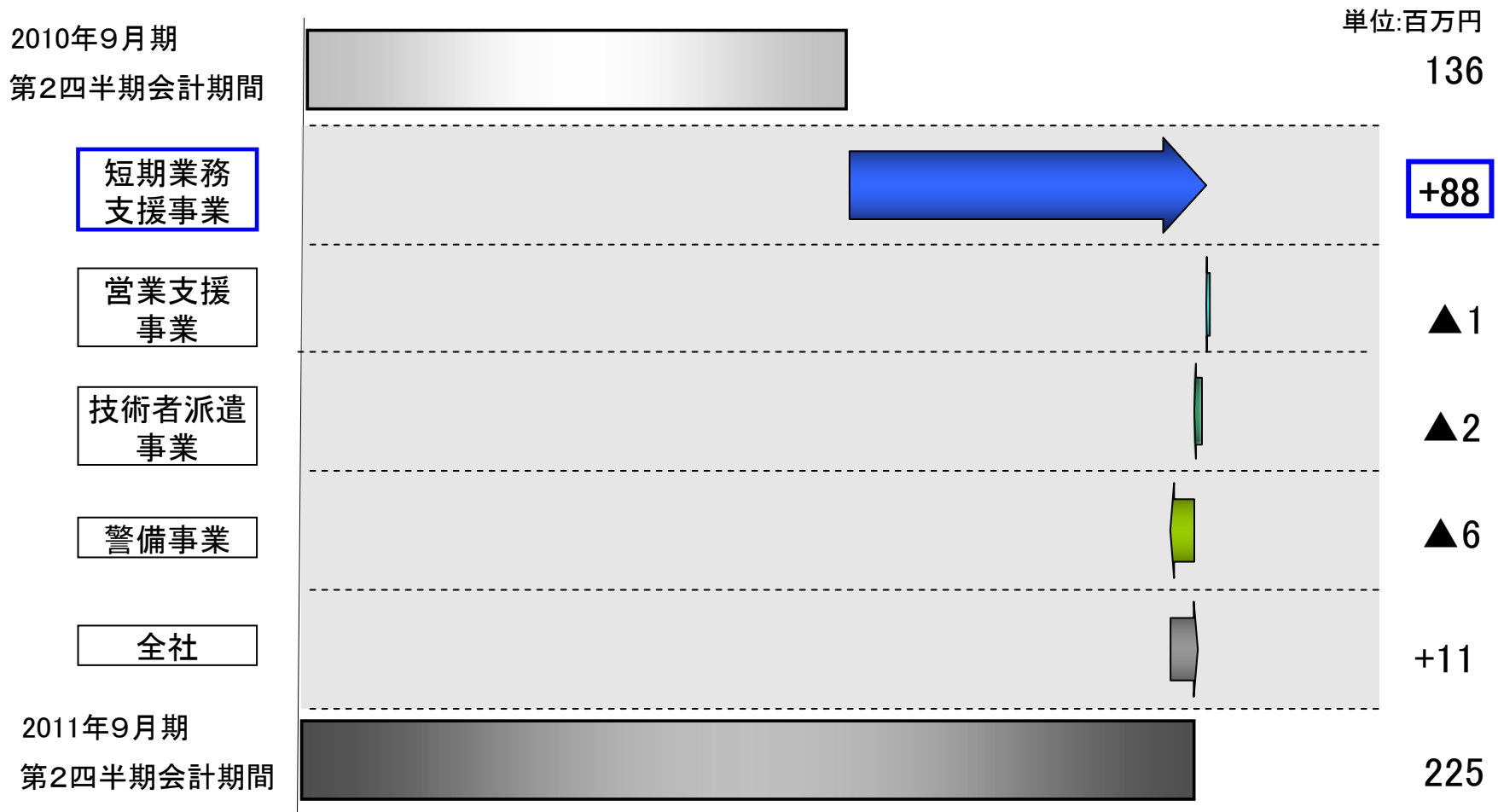
■ 短期業務支援事業 □ 営業支援事業
■ 技術者派遣事業 □ 警備事業

2011年9月期
第2四半期会計期間

営業利益の変動要因について

短期業務支援事業の増益により、連結上の増益を確保

<前年同四半期比較>



特別利益・特別損失について

東日本大震災に起因する災害による損失81百万円の発生を主因として
特別利益並びに特別損失の合計額は▲118百万円

単位:百万円

2010年9月期第2四半期	
関係会社株式売却益	114
受入助成金	68
投資有価証券売却益	7
貸倒引当金戻入	4
特別利益	194
雇用調整支出金	64
店舗閉鎖損失	30
寮解約損	13
固定資産除却損	4
保険解約損	3
固定資産売却損	2
特別損失	115
合計額	79

2011年9月期第2四半期	
受入助成金	11
その他	2
特別利益	14
災害による損失	81
雇用調整支出金	19
減損損失	18
固定資産除却損	13
固定資産売却損	1
特別損失	132
合計額	▲ 118

2011年9月期第2四半期累計期間業績

第2四半期累計期間における連結売上高の前年同期比は3.4%増、営業利益の前年同期比は112.7%増

単位:百万円

	2010年9月期 2Q	2011年9月期 2Q	増減率
売上高	18,035	18,651	3.4%
売上総利益	4,260	4,472	5.0%
販売費及び一般管理費	3,846	3,590	▲6.6%
営業利益	414	881	112.7%
営業利益率	2.3%	4.7%	-
経常利益	362	875	141.7%
当期純利益	▲216	748	-

バランスシートとキャッシュフローの状況

収益改善と借入金の圧縮により自己資本比率は6.4%改善した。 単位:百万円

	2010年9月期 4Q	2011年9月期 2Q	増減	増減比
流動資産	9,737	9,615	▲ 123	▲1.3%
(うち現金及び預金)	5,017	4,398	▲ 619	▲12.3%
固定資産				
有形・無形固定資産	474	592	118	24.9%
投資その他の資産	1,267	953	▲ 314	▲24.8%
(資産合計)	11,479	11,160	▲ 319	▲2.8%
	2010年9月期 4Q	2011年9月期 2Q	増減	増減比
流動負債	7,798	7,476	▲ 322	▲4.1%
固定負債	1,190	587	▲ 603	▲50.7%
借入金	5,411	4,418	▲ 993	▲18.4%
純資産	2,491	3,097	606	24.3%
(負債・純資産合計)	11,479	11,160	▲ 319	▲2.8%
自己資本比率	16.2%	22.6%	6.4	39.7%

	2011年9月期 1Q	2011年9月期 2Q
営業活動によるキャッシュ・フロー	356	168
投資活動によるキャッシュ・フロー	65	▲ 161
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 476	▲ 522
フリーキャッシュ・フロー	421	7

Agenda

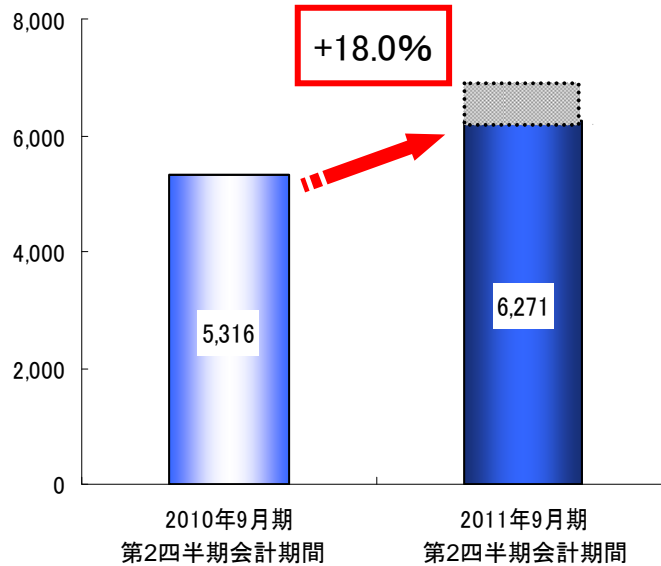
- ◆ 東日本大震災の影響についてP.3
- ◆ 2011年9月期第2四半期業績P.5
- ◆ セグメント別の業績(2011年1月～2011年3月)P.12
- ◆ 2011年9月期 施策進捗状況P.17
- ◆ 2011年9月期 通期業績予想P.23
 - ・ 子会社の異動についてP.23
 - ・ 通期業績予想についてP.27

短期業務支援事業

繁忙期の3月に発生した東日本大震災による影響を受けたものの、第2四半期会計期間における売上高は前年同期比18.0%増、営業利益は前年同期比31.8%増。

売上高

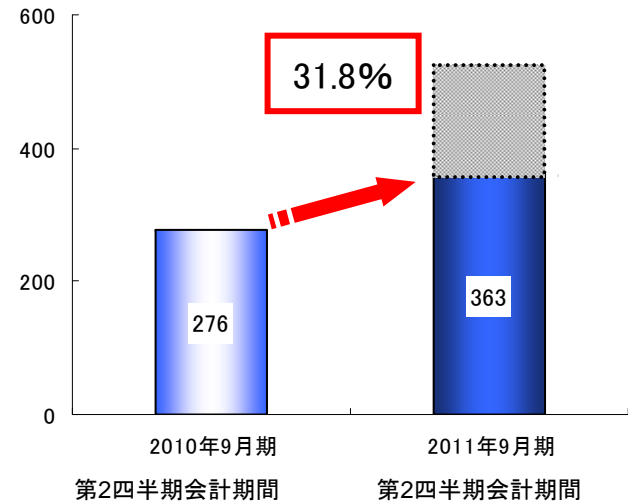
単位:百万円



震災影響額: ▲698百万円

営業利益

単位:百万円



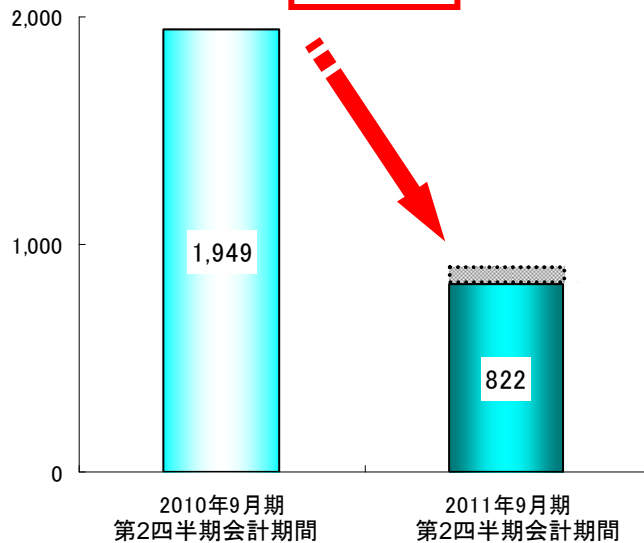
営業利益率
5.2% **5.8%**

震災影響額: ▲163百万円

前期のリストラクチャリング、東日本大震災の影響、及びコールセンター事業において契約形態の変更に合わせた体制作りが遅れたため、売上高は前年同四半期比57.8%減。営業利益は、前年同四半期と比べて1百万円の減少。

売上高

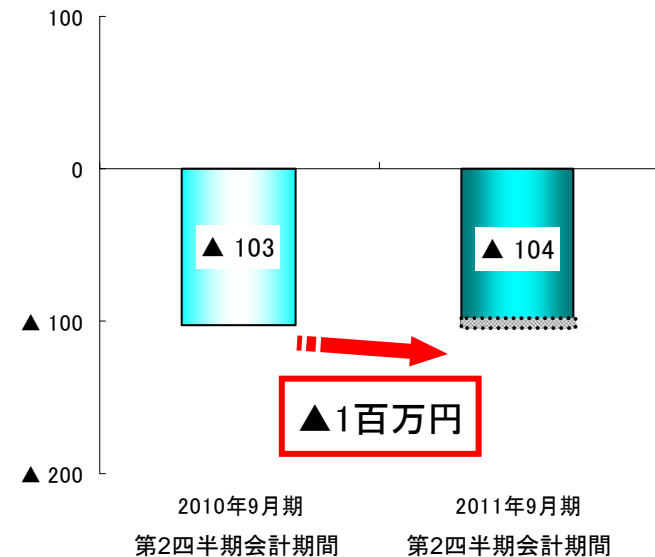
単位:百万円



震災影響額: ▲64百万円

営業利益

単位:百万円



営業利益率

▲5.3%

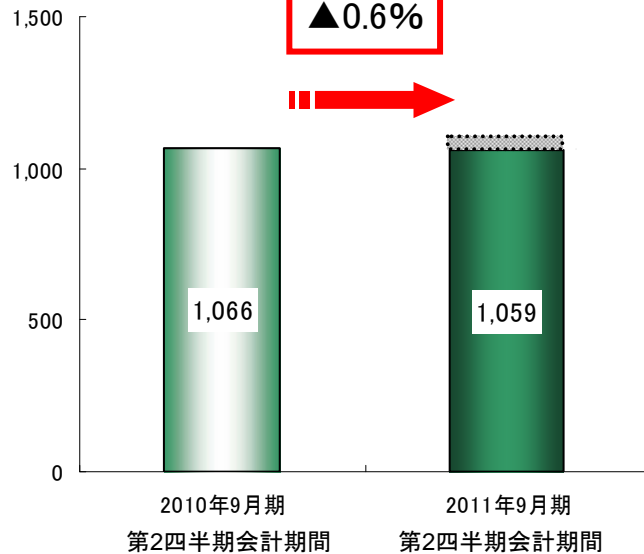
▲12.7%

震災影響額: ▲9百万円

売上高は前年同四半期と同水準を確保。派遣技術者に対する賞与支給率をアップしたことにより売上総利益率は低下、一方で販売費及び一般管理費の削減努力はしたものの、営業利益は前年同四半期比3.3%減。

売上高

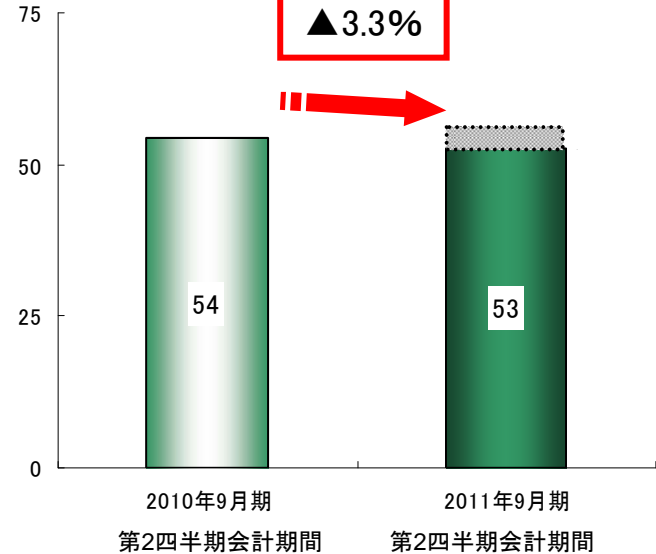
単位:百万円



震災影響額: ▲11百万円

営業利益

単位:百万円



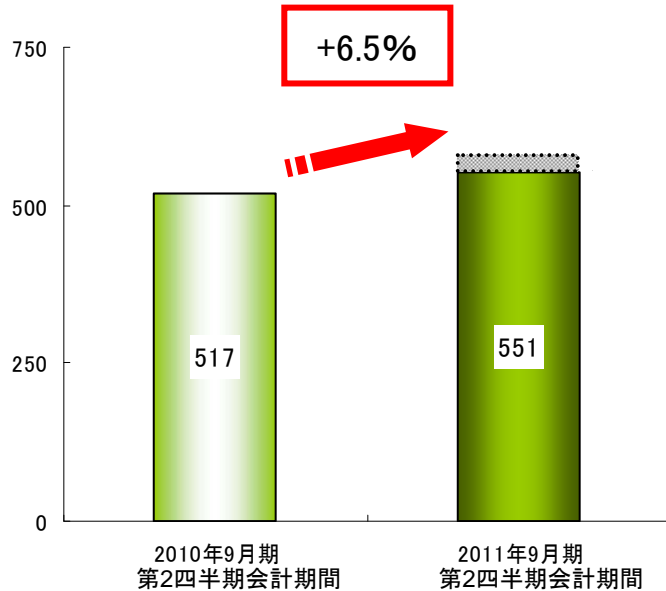
営業利益率
5.1% **5.0%**

震災影響額: ▲4百万円

売上高は前年同四半期比6.5%増に留まる。東日本大震災の影響と営業体制の確立が当初想定よりも遅れていることが伸び悩みの原因。一方で販売費及び一般管理費は抑制しきれず、営業利益は前年同四半期比39.1%減。

売上高

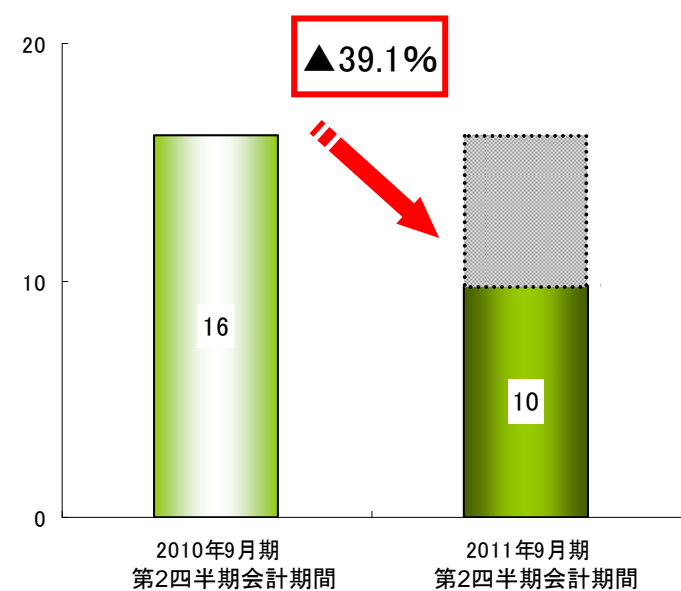
単位:百万円



震災影響額: ▲29百万円

営業利益

単位:百万円



営業利益率
3.1% **1.8%**

震災影響額: ▲6百万円

※2010年10月より「警備・その他事業」を「警備事業」に変更しております。

Agenda

- ◆ 東日本大震災の影響についてP.3
- ◆ 2011年9月期第2四半期業績P.5
- ◆ セグメント別の業績(2011年1月～2011年3月)P.12
- ◆ **2011年9月期 施策進捗状況**P.17
- ◆ 2011年9月期 通期業績予想P.23
 - ・ 子会社の異動についてP.23
 - ・ 通期業績予想についてP.27

2011年9月期 グループ方針

**創業事業である短期業務支援事業を
柱としたグループ運営を行う**

2011年9月期 目標

**収益の拡大と
持続成長可能な事業基盤の確立**

地方エリアの分割 2010年11月～

(概要)

北関東以北と岡山以西を2エリア制から4エリア制に

(目的)

エリアマネジャーとメンバーの接点を増やすことで社員のモチベーションアップ、レベルアップを図る

拠点の集約と機能分化 2011年1月～

(概要)

東京、神奈川、千葉、埼玉、大阪の拠点を各都府県1拠点(集約拠点)体制に併せて、営業、マッチング機能を集約拠点に、採用機能を登録センターに分化

(目的)

エリアマネジャーとメンバーの接点を増やすことで社員のモチベーションアップ、レベルアップを図る

「即給」制度の導入 2011年1月～

(概要)

給与の“前払い”制度、最短で就業日の翌日朝に振込をするサービス

まずは東京、神奈川、千葉、埼玉、大阪にて導入

(目的)

スタッフの利便性向上

支店でのスタッフ給与支払業務の削減による効率化

「キャスト目安箱」の設置 2011年1月～

(概要)

スタッフの様々な意見を徴収するためのwebページを開設

(目的)

スタッフの満足度向上、社員のレベルアップ

システムの増強 2011年1月

(概要)

スタッフへの就業確認メールを大量一括で配信できるようにキャパシティーの増強

(目的)

スタッフの満足度向上

業務の効率化、生産性の向上

登録センターでのシルバー人材の採用 2011年4月～

(概要)

経験豊富なシルバー人材を登録センターの責任者として採用を開始
埼玉地区でフィジビリティスタディを開始、8月にはすべての登録センターでの体制確立

(目的)

経験豊富な人材を採用することで、窓口業務の対応力を向上させ、
スタッフの満足度の向上、社員のレベルアップを図る

マナーインストラクターの採用とマナー研修の実施 2011年4月～

(概要)

元JALの職員を採用し、実地研修と接客対応のスタンダードの確立

(目的)

フルキャストとしての接客対応レベルの向上と接客対応のスタンダードを確立し、社員のレベルアップを図るとともに、クライアント、スタッフの満足度の向上を企図

「即給」制度の全国導入 2011年5月～

(概要)

首都圏、大阪で先行導入していた、「即給」制度を全国の拠点で導入

(目的)

スタッフの利便性向上

支店でのスタッフ給与支払業務の削減による効率化

フルキャストアドバンス仙台支店の開設 2011年5月～

(概要)

施工管理等の請負サービスをしているフルキャストアドバンスに仙台支店を開設する

(目的)

震災への対応としては、派遣ではなく、我々で安全を確保できる、請負の形でグループとして貢献する

バックアップサーバーの設置 2011年7月

(概要)

東京電力管轄外にバックアップサーバーを設置する

(目的)

この夏に仮に停電が発生しても業務が継続できるようにする

Agenda

- ◆ 東日本大震災の影響についてP.3
- ◆ 2011年9月期第2四半期業績P.5
- ◆ セグメント別の業績(2011年1月～2011年3月)P.12
- ◆ 2011年9月期 施策進捗状況P.17
- ◆ 2011年9月期 通期業績予想P.23
 - ・ 子会社の異動についてP.23
 - ・ 通期業績予想についてP.27

【営業支援事業グループ：子会社から持分法適用関連会社へ】

子会社(株)フルキャストマーケティング(以下、FCMという)株式の一部譲渡並びに同社の第三者割当増資実施による当社持分は以下の通りに

- 株式譲渡並びに第三者割当増資による当社持株比率の推移

譲渡並びに増資前持株比率	譲渡並びに増資後持株比率
54.39%	33.33%

【技術者派遣事業グループ：子会社から連結除外へ】

子会社(株)フルキャストテクノロジー(以下、FCTという)株式の公開買付応募による売却

- 公開買付者：株式会社夢真ホールディングス(証券コード2362 JASDAQ)
- 公開買付応募の概要：当社保有株式全株(38,864株)の応募
- 公開買付期限：2011年5月26日

営業支援事業の連結決算への影響について

- ① 業績について: 損益をそのまま取り込んだ後、外部株主持分を少数株主持分損益として控除する処理から、第3四半期以降は、当期純利益に当社持分割合を乗じた額等を営業外収益又は費用に反映
- ② 譲渡等について: 一時的な利益として、「関係会社株式売却益」「持分変動益」を特別利益に計上

	2011年9月期 第2四半期	2011年9月期 第3四半期	2011年9月期 第4四半期
営業損益	営業支援事業	—	—
営業外収益又は費用 持分法投資損益		▲61 営業支援事業	▲15 営業支援事業
特別利益 持分変動益	—	② 109 営業支援事業	—
関係会社株式売却益	—	199 営業支援事業	—
少数株主損益	営業支援事業	—	—

技術者派遣事業の連結決算への影響について 25 **F**

- ① 業績について: 2011年9月期第4四半期以降連結対象外となることから、連結損益計算書への影響は0に
- ② 譲渡について: 一時的な利益として、「関係会社株式売却益」を特別利益に計上

	2011年9月期 第2四半期	2011年9月期 第3四半期	2011年9月期 第4四半期
営業損益	① 技術者派遣事業	技術者派遣事業	—
営業外収益又は費用 持分法投資損益			—
特別利益	—	—	—
持分変動益			
関係会社株式売却益	—	② 324 技術者派遣事業	—
少数株主損益	技術者派遣事業	技術者派遣事業	—

2011年9月期通期業績予想への影響

期初業績予想から、営業支援事業並びに技術者派遣事業の異動に伴う影響額を控除した業績予想は以下の通り

単位:百万円

	期初業績予想	営業支援事業の 異動に伴う影響	技術者派遣事業の 異動に伴う影響	影響額控除後 期初業績予想
売上高	38,393	▲ 3,422	▲ 1,439	33,532
短期業務支援	25,703	-	-	25,703
営業支援	5,423	▲ 3,422	-	2,001
技術者派遣	4,686	-	▲ 1,439	3,247
警備	2,580	-	-	2,580
営業利益	2,125	▲ 273	▲ 147	1,705
経常利益	2,057	▲ 349	▲ 147	1,561
当期利益	1,749	106	192	2,047

2011年9月期業績予想の修正

警備事業の落ち込みを、短期業務支援事業で補い、期初業績予想(子会社の異動に伴う影響額控除後)どおりの売上、営業利益を確保する修正業績予想としている

単位:百万円

	期初業績予想 (子会社の異動に伴う 影響額控除後)	修正業績予想 (5月6日公表)	差異
売上高	33,532	33,532	-
短期業務支援	25,703	25,877	173
営業支援	2,001	2,001	-
技術者派遣	3,247	3,247	-
警備	2,580	2,407	▲ 173
営業利益	1,705	1,705	-
経常利益	1,561	1,606	45
当期利益	2,047	2,029	▲ 18

「価値を提供し続けることができる 企業グループとして」



BNY MELLON
DEPOSITARY RECEIPTS

米国預託証券プログラム：

プログラムの種類：Level-1 スポンサー付き

原株との交換比率：100 ADR = 原株1株

米国証券コード(CUSIP)：35968P100

Symbol：FULCY

預託銀行：バンクオブニューヨークメロン

101 Barclay Street, New York, NY 10286, U.S.A.

TEL：(212) 815-2077

U.S. Toll Free：(888) 269-2377 (888-BNY-ADRS) Web Site：

http://www.adrbny.com/dr_profile.jsp?cusip=35968P100

【お問い合わせ先】

IR担当：03 - 4530 - 4830

URL：<http://www.fullcastholdings.co.jp/ir>

e-mail：IR@fullcast.co.jp

Fullcast Holdings IR資料は情報の提供を目的としており、投資等を勧誘するものではありません。最終的な判断はご自身でお願いいたします。

また情報の内容につきましては万全を期しておりますが、内容を保証するものではありません。本文、データなどに関する正確性、信頼性、安全性などから起因する直接的、間接的あるいは程度を問わずこれらの情報によって生じた損害につきましては当社は一切の責任を負いません。

Fullcast Holdings IR資料の著作権は当社に属し、当社に無断で転用することを禁じます。